ミニ社協だより

令和８年５月号

発行／社会福祉法人北広島町社会福祉協議会
〒731-2104　北広島町大朝 2513-1
電話　0826-82-2680　　FAX　0826-82-2778
ホームページ　https://www.kitahirosya.jp/
メールアドレス　k.syakyo@kitahirosya.jp

地域で考える 人のつながりと災害

阿坂サロン（豊平地

4/17（金）、豊平地域の阿坂サロンにお招きいただきました。

災害発生時に自分はどう行動するのか？「クロスロード」という災害対応カードゲームを使い、みんなで意見交換をしました。災害時を想定した『夜中の豪雨中に家をでて避難所へ移動する??』『感染症が流行していても避難所で過ごす??』などの「正解のない問題」を前に、参加者の皆さまはそれぞれの考えを表明され、意見の違いに驚いたり納得したりと、災害を興味深く考える時間になりました。

途中、女性会のみなさんが手作りされた桜餅も振る舞われ、和やかなひと時を楽しみました。

「ミニ社協だより」は、音声による広報としてカセットテープや CD に録音して貸出しています～
この広報紙は、みなさまからの会費、共同募金をもとに作成しています

2026（令和８）年度　事業方針

昨年度に「第１期北広島町地域福祉活動計画」を策定しました。これは『「誰もが安心して暮らせる持続可能なまち」～地域の力で支え合い、共に歩むまちづくり～』を基本理念として掲げ、令和８年度から令和１２年度の５年間計画です。

今年度は、引き続き、従来の事業の見直しも行いながらその多くを継承するとともに、地域福祉活動計画を踏まえて、地域住民の方の声を聴く機会を設け、町と協働し、地域課題の解決、地域福祉の推進に取り組みます。

１．人材確保

昨年度は福祉施設勤務経験者、困窮等相談業務経験者を含め、非正規、正規併せて４名の職員採用を行うことができました。また町の支援をいただいて、給与制度の見直しを行い、今年度から新たな給与制度の適正な運用に努めるとともに、当社協の今後の事業実施予定、事業規模等を考慮、適正職員数の検討を行いながら人材確保に努めます。

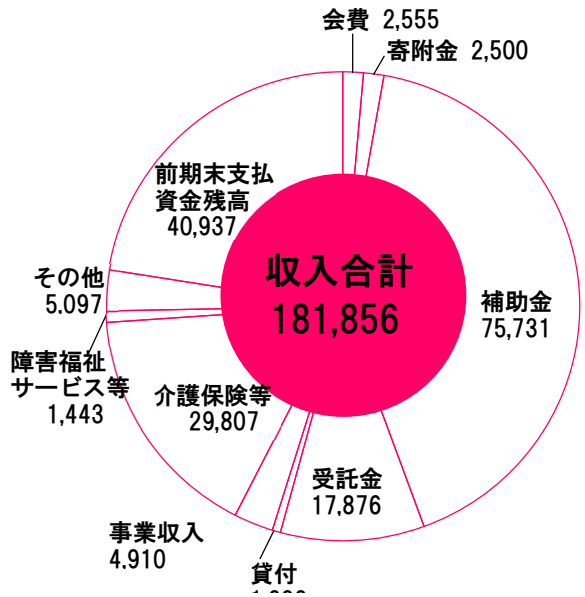
２．業務の効率化推進及び情報管理・セキュリティの強化

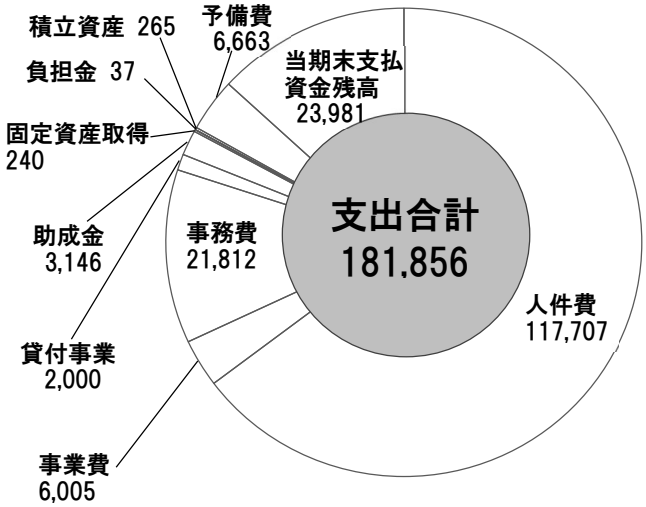
昨年度も専門員による点検・保守を実施してセキュリティ対策を着実に行うとともに、それを利用する職員の研修を実施して更なる情報管理意識の向上に努めて参りました。今年度もなお一層の情報管理、セキュリティ対策に取り組むとともに、ビジネスアプリや「AI」等、時代に沿った業務の効率化に取り組み、人材確保と併せ、就労環境の改善を図って参ります。

３．介護保険事業の継続

介護保険事業については、経営的には厳しい状況が続いております。今年度も、さらなる業務改善を図りつつ、行政や他介護保険事業所との連携をさらに進め、町内にある訪問介護事業の継続の道筋について協働・検討を進めて参ります。当社協の介護保険事業継続については住民からの要望も多く、介護保険事業検討委員会を中心に、今後の方向性、事業の継続について検討を重ねてまいります。

令和８年度予算（単位　千円）





日本赤十字の活動にご協力お願いします

日本赤十字社の活動は、住民の皆様や企業・法人の皆様からお寄せいただいた会費により支えられています。広島県では活動費の 7 割（約4億円）が皆様からお寄せいただく会費となっています。

例年5月に、各行政区の区長さん、福祉委員さんを通じて住民の皆様に会費 500 円のご協力をお願いしています。目的や活動をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

主な使途・活動内容

- ●災害救護活動(災害発生時の医療救護班派遣、被災者への救援物資配布等)
- ●国際活動（海外での災害や紛争等の救援等）
- ●救急法、水上安全法、幼児安全法、健康生活支援講習等の講習会の開催
- ●病院など医療施設の経営をはじめとする地域医療の推進・血液事業（献血）の推進等

会員の種類と金額

協力会員	**年額 500 円以上**
会員	**年額 2,000 円以上**

※一定額以上の会費をいただいた場合は、税制上の優遇処置(控除等)が受けられます。詳しくは日本赤十字社広島県支部（082-545-5011）までお問い合わせください。

譲ります・譲ってください コーナー

社協会員を対象に、「物品をゆずりたい方」と「物品をゆずってほしい方」の、橋渡しを行っています。掲載されている物品以外にも、様々な物品を譲りたい方がいらっしゃいます。「ゆずってほしい」「ゆずりたい」方、お気軽にご連絡ください。

譲 り ま す

No. 8 他

1 本杖各種

No. 99

ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ

No. 42

ｼｬﾜｰﾁｪｱ

No. 47

拡大ﾙｰﾍﾟ

No. 48

ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ

No. 49

ﾍﾞﾋﾞｰｶｰ

No. 50

ﾍﾞﾋﾞｰﾗｯｸ

No. 51

介護用
防水シーツ

譲ってください 歩行器、車いす、2人乗り用ベビーカー、折りたたみ杖、シルバーカー、プラスチック製ポータブルトイレ

6 月 の 行 事 予 定

行事名	日にち	時 間	会 場	内 容
囲碁の集い	毎週金曜日	10:00～17:00	大朝福祉センター	頭の体操に始めてみませんか！
太極拳教室	第 1 ・第3 火曜日（6 月 2 日・16 日）	13:30～15:00		全身運動と長深呼吸で心身を整えます！月謝 2,000 円
わさまちサロン	第 2 木曜日（6 月 11 日）	9:30～11:30		イスに座った体操などおこないますどなたでも参加できます。参加費 300 円
リメイクサロン	6 月 26 日(金)	10:00～11:30		古布を使って小物や服をつくります。
折り紙教室	6 月 29 日(月)	13:30～15:00		みんなでおしゃべりしながら折り紙を楽しんでいます。どなたでも参加いただけます。
ふれあい麻雀教室	第 1・第3 木曜日（6 月 4 日・18 日）	13:30～16:00		外出の機会、生活の楽しみを増やして交流することで元気になりましょう！どなたでも（初心者）大歓迎

ヘルパーさーん！ No.17

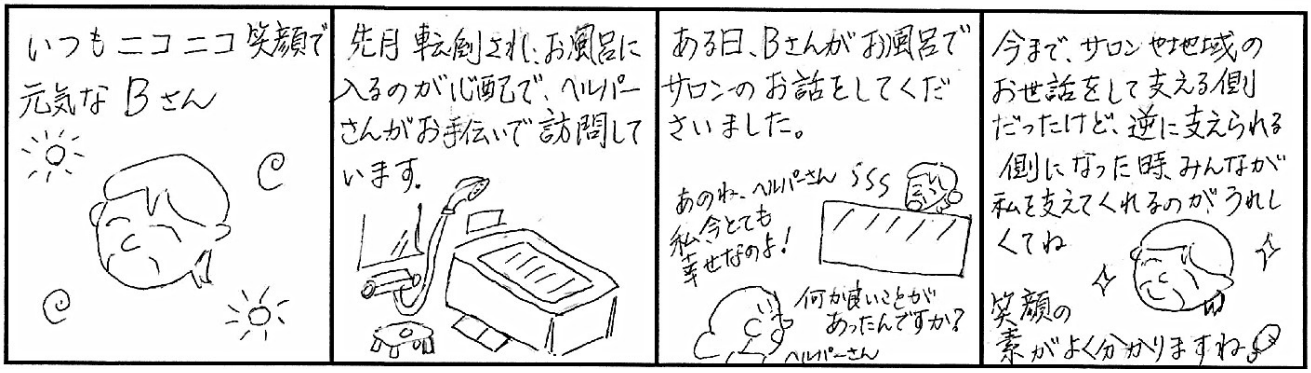
「助けられ上手さん」

ヘルパーは日々訪問活動する中で地域の課題や問題に直面します。生活のしづらさを感じている方が、地域で住み続けられるように、地域の皆さんで考え支え合いの一助になることを目的にご紹介します。

◆『困り事を自分でマネジメントする』の巻

介護支援専門員は、A さんに必要な介護サービスを計画します。訪問介護サービスにおいても、介護が必要な部分を対応しますので、生活の全てを支えるわけではありません。日々、様々な生活の困り事が発生します。A さんのように、困り事の解決を人任せにせず、自分で「こうしたい」「この人に助けてもらおう」「どうやってお願いをしようか」と考え、行動されることこそが、自分らしい生き方、豊かな暮らしに繋がります。人生の主役は自分自身なのですから。

◆『備え上手さん』の巻



B さんは、日頃からご近所付き合いが多く、ふれあいいきいきサロン（以下、サロン）にも積極的に参加されていました。サロンでは「私が困った時はみんなで支えてね！」と宣言もされていたようです。そのために、ご近所の方で困ったことがあれば「お互い様よ」と世話焼きさんの役割を担っていました。いざ、自分が支えられる状況になった時、今までのご近所付き合いやサロンの繋がりのおかげで、「困った、助けて」があれば、すぐに駆け付けてくれます。また、日頃からご近所さんが気にかけて声をかけてくれます。「助け、助けられ」の営みが、生活の安心と豊かさを生み出してくれます。